

事業概要シート

担当部名	環境農政部	事業名 (子事業名)	生物多様性生きもの調査推進事業費
担当課名	環境政策課	根拠法令・例 規・要綱・計 画等	生物多様性基本法、生物多様性あつぎ戦略
担当係名	環境政策係		
事業開始年度	平成18年度		

事業概要

目的	生物多様性あつぎ戦略において掲げている目指すべき将来像「未来へつなげよう 自然のめぐみと暮らすまち あつぎ」を達成するため、市内に生息する希少動物等の調査観察及び情報の収集・蓄積を行うことにより、生物多様性の実態を正しく把握することを目的としています。
対象	市内に生息する野生生物
事業詳細 (実施内容・ 実施手法等)	<p>①オオタカ観察調査業務委託 市内NPO法人に次の業務を委託しています。 (1) オオタカを指標とした生態観察 (2) オオタカの生息・生育などの周辺環境変化(人為的なものを含む)観察 (3) オオタカの生態に影響を及ぼす周辺環境の変化についての助言等 ※市内18ポイントについて、年間20回調査を実施しています。</p> <p>②厚木市版レッドデータ報告書作成に係る調査業務委託 厚木市におけるレッドデータ生物(希少種、絶滅危惧種)の候補種の抽出及び重要な自然環境エリアの選定を行いリスト化するため、平成26年度から令和元年度まで実地調査等を行い、それを基に令和2年度にレッドデータブックを完成する予定で実施しています。 なお、調査は、過去に市が実施した自然環境等基礎調査を受託した団体に委託することで、効果的に行っています。</p>
事業の効果	<p>①オオタカの生息状況等の観察により、周辺環境の変化を把握できます。</p> <p>②レッドデータブックが完成することにより、具体的な自然環境保護施策を展開することができます。</p>
事業周知方法 ・内容	<p>①密猟や生息エリア立入りによる環境変化を防ぐなど保護の観点から調査結果は非公表としています。</p> <p>②レッドデータブックの完成後、市内に生息する希少生物の名称などの情報を市HPなどで公開します。</p>

事業の全体像(フロー図、写真などを用いて事業の様子を視覚的に説明)

オオタカが住める環境を保持できているかモニタリングを実施



この事業で担っている部分

特定外来生物等対策

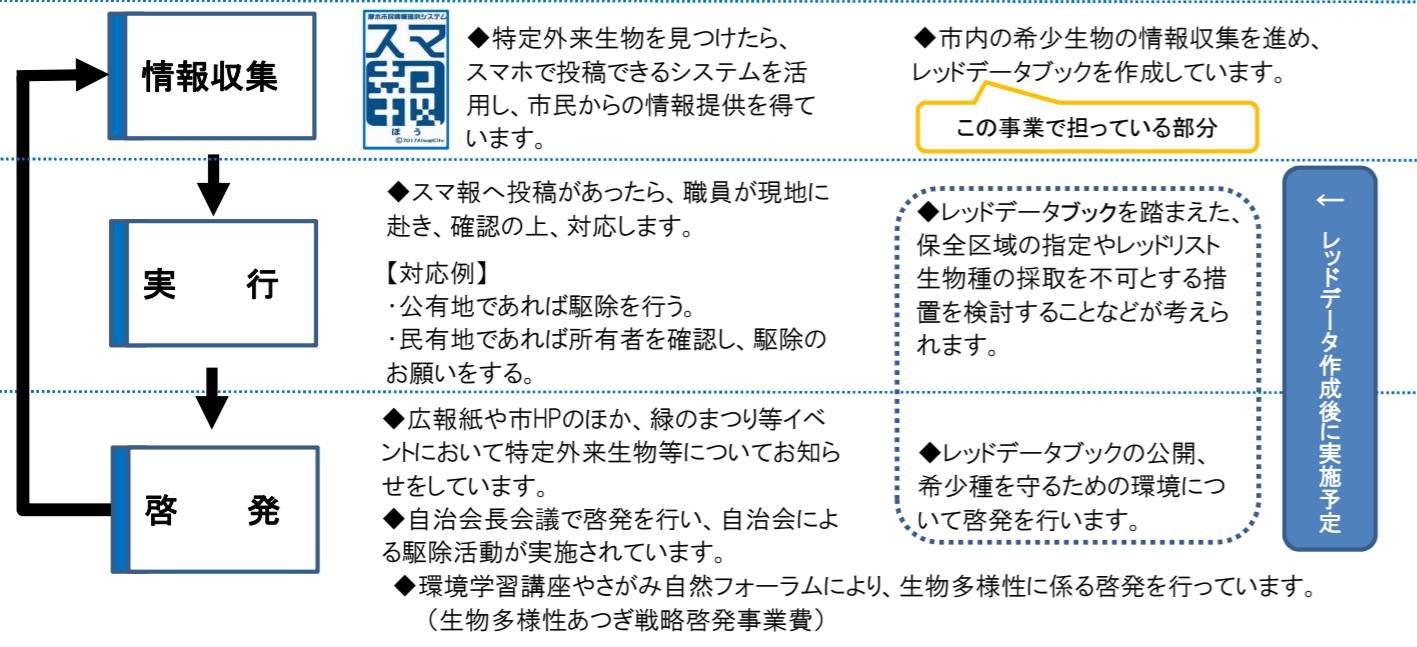


オオキンケイギク アメリカオニアザミ スウインホーキノボリカゲ

希少生物の保全



コアジサン ミズナラ ヨソボシトシボ



指標名	レッドデータブック作成の工程	成果指標の推移グラフ																				
指標の説明	平成26年度から令和2年度までにレッドデータブックを完成させるための工程が各年度において達成されているかを示すもの。	<p>レッドデータブック作成工程</p> <p>※工程X(生物種リストの作成、文献の研究)は、既に終了</p>																				
成果指標	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>平成28年度</th> <th>平成29年度</th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> </tr> <tr> <td>目標</td> <td>A実施</td> <td>A完了</td> <td>B実施</td> <td>B、C完了</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>達成</td> <td>達成</td> <td>達成</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </table>	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	目標	A実施	A完了	B実施	B、C完了	実績	達成	達成	達成		達成率	100.0%	100.0%	100.0%		
単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度																		
目標	A実施	A完了	B実施	B、C完了																		
実績	達成	達成	達成																			
達成率	100.0%	100.0%	100.0%																			
指標備考	<p>工程A レッドリスト対象種、カテゴリの検討</p> <p>工程B レッドリスト候補種の現地調査</p> <p>工程C レッドリストランキングの検討</p>																					

事業のコスト

コスト	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算見込み)	令和元年度(予算)
	千円	3,154	2,614	2,662
事業費				
人件費		431	431	
経費総額		3,585	3,045	

人件費内訳	平成29年度人件費内訳(単位:千円)				平成30年度人件費内訳(単位:千円)					
	行政職1	@ 8,610 × 0.05 人 =	431	行政職1	@ 8,610 × 0.05 人 =	431	行政職2	@ 8,472 × 人 =	0	
	行政職2	@ 8,472 × 人 =	0		行政職2	@ 8,472 × 人 =	0	消防職	@ 8,719 × 人 =	0
	消防職	@ 8,719 × 人 =	0		消防職	@ 8,719 × 人 =	0	再任用	@ 3,716 × 人 =	0
	再任用	@ 3,716 × 人 =	0		再任用	@ 3,716 × 人 =	0	臨時職員	@ 1,197 × 人 =	0
	臨時職員	@ 1,197 × 人 =	0		臨時職員	@ 1,197 × 人 =	0	その他	× 人 =	0
	その他	× 人 =	0		その他	× 人 =	0			

事業費及び 財源内訳 (千円)	年度	総額	一般財源	国県支出金	市債	その他
	H29(決算)	3,154	3,154			
	H30(決算見込み)	2,614	242			2,372
	R01(予算)	2,662				2,662

事業費内訳	<p>【R元年度予算内訳】</p> <p>①オオタカ観察調査業務委託費 352,000円</p> <p>②厚木市版レッドデータ報告書作成に係る調査業務委託 2,310,000円</p> <p>【注1】H29までは、スマ報の前身である、「写マップあつぎ」の運用委託費約50万円が含まれていましたが、現在は運用主体が情報政策課になったため、予算額を減額しています。</p> <p>【注2】財源のうち、「その他」はふるさと納税です。</p>
-------	---

①市民要望 ②社会的要請 ③課題	<p>①特定外来生物等については、市民からの問い合わせが増加していることもあり、認知度が向上していると感じています。特に、オオキンケイギクの駆除は自治会や小学校などで自主的に実施していただいております。</p> <p>②ヒアリやカミツキガメなど、直接的に人への危害が生じる恐れがある生物に対して適切に対応することが求められていると考えます。</p> <p>③外来生物の脅威については、認識されてきている反面、希少生物に対する認識は、未だ不足しています。</p>
------------------------	--

上記課題等への 対応や見直しの 方向性	<p>生物多様性の保全は、生物の数を適正に保つことが必要であることから、侵略的な外来種の駆除と希少生物が住める環境の保全の両面の対策が重要になります。</p> <p>近年、外来生物の問題がメディアで取り上げられるようになり、市が対応を求められるケースも増えてきているため、体制の拡充が必要であると考えます。</p> <p>また、厚木市版レッドデータブックの完成後には、市民団体との連携を図り、レッドデータブックを活用した普及啓発を実施し、自然環境の保全に役立ててまいります。</p>
---------------------------	---

直近3か年以内 の事業見直しの 有無とその内容	見直しの有無 無	当該調査業務等は、順調に実施できているため、特に見直しをする必要はありませんでした。
-------------------------------	----------	--

近隣自治体等 の状況	【県内自治体における生物多様性地域戦略の策定状況】 神奈川県、横浜市、川崎市、相模原市、藤沢市
---------------	--